

臨床研究に関する情報公開

「早期声門部癌の1回2.25Gyによる放射線治療の実態調査に関する研究」

－ 多施設による遡及的調査 － について

小牧市民病院では、さまざまな「がん」に対して放射線治療を行っております。

このたび、東海放射線腫瘍研究会の研究課題として、「早期声門部癌の1回2.25Gyによる放射線治療の実態調査に関する研究」－多施設による遡及的調査－を行うことになりました。

この研究は、名古屋大学医学部附属病院放射線科が研究事務局として東海地区58の放射線治療施設のうち、本研究の趣旨に賛同し協力していただける施設と一緒に多施設調査研究です。

調査対象となるのは、早期声門部癌I期の方です。1回2.25Gyの放射線治療をされた方で以下のように2段階に分けて調査を致します。

1. 第一次研究対象者

平成23年1月より平成25年8月までの期間に放射線治療が施行された声門部癌I期の方（20歳以上）で、1回線量が2.25Gy、照射回数は28回前後で施行された方。

2. 第二次研究対象者

第一次研究対象者に加え、平成25年12月から平成29年12月まで、毎年12月に、同様に1回2.25Gy（照射回数は28回前後）で施行された声門部癌I期の方についても、各年の12月に急性期および晩期の有害事象（副作用）と局所制御の有無、その後の経過など、所定の評価項目について最新のデータに更新。

上記調査項目はすべて既存のデータのみであり、データ上すべての患者の方は匿名化され、名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありません。従いまして、各患者の方に何らかの負担が生じることはありませんのでご安心ください。

また、調査したデータは、名古屋大学医学部附属病院放射線科にて集計し、協力していただいた施設とデータを集積して解析を行います。解析後のデータは破棄されますが、名古屋大学医学部附属病院の患者の方の基本データ（匿名

化されたもの)は名古屋大学医学部附属病院放射線科にて厳重に管理致します。

尚、今回の研究で得られた結果については、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。本研究の調査対象の患者の方で調査に同意されない方はお申し出ください。しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがありますのでご承知ください。

この調査に関しまして、ご質問などがございましたら、下記の連絡先まで遠慮なくお尋ねください。

小牧市民病院
放射線科部長 平澤直樹
住所 小牧市常普請1-20
電話 0568-76-4131 (代表)